

何事にもチャレンジして欲しい。



尾高康之さん

「ご自分で制作した絵画を上三川中学校に寄贈された、尾高康之さんにお話を伺いました。」

尾高さんが寄贈された絵画はF100cm(1621×1303mm)の大きさで、長野県上高地の明神池を描いたものです。制作に約半年かかったというこの油絵は、明神池の透明感のある水面が美しく描かれています。

尾高さんが油絵を始めたのは、前々から絵画に興味があり、会社を早期退職した56歳の時に、絵画教室に入ったのがきっかけです。それから、奥鬼怒や福島県の駒止湿原、イタリアのローマの街並みなど、自分が良い景色だと思うものを描いてきました。

尾高さんは今回の絵画の

今月の輝ける星

寄贈について、「私は子どもの時も特別絵が上手だったわけではないし、最初から納得のいくものが描けていたわけではないけど、退職して絵を描き始めてから楽しくて毎日のように描いていた。生徒の皆さんには、自分の好きなことに失敗を恐れないで夢中になって取り組んで欲しい。何事にもチャレンジする気持ちを大切にしたい。この絵を見て、そういったことを感じてもらえたら嬉しいです。」と話してくれました。



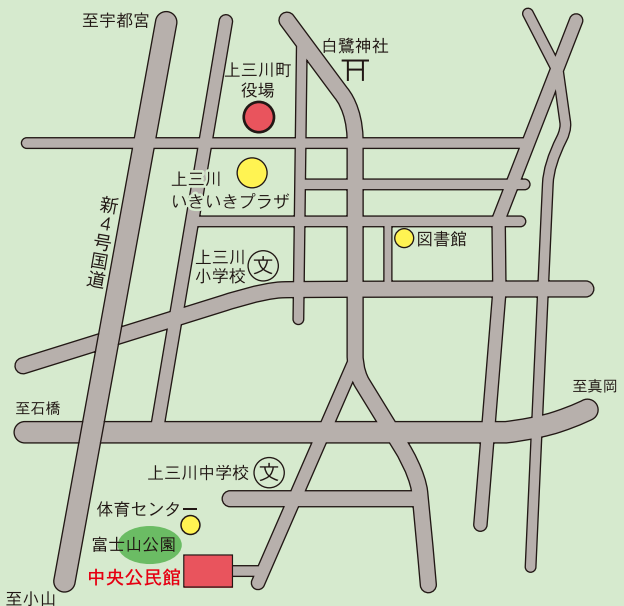
尾高さんが寄贈された絵画『みなも』

中央公民館にいらしてみませんか?

中央公民館では様々な講座を開催し、町民の皆さんの知的好奇心を満たす機会を提供しています。また、それらの事業を通し、人と人との交流を得ることができます。

今後、当ページにおいて中央公民館で開催している事業等を紹介いたしますので、興味をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。

また、公民館講座の種類については、広報かみのかわ4月号と一緒に配布しました「平成23年度中央公民館開催講座・サークル紹介」をご覧ください。



▼問い合わせ先=中央公民館 ☎3510